

第 34 回日本ハンドボールリーグ岩手大会について

岩手県ハンドボール協会（JHL ニュースより抜粋）

1 岩手大会（大崎電気 対 湧永製薬）の見どころ

「新春第 1 戦に激しい火花が散る大一番」

第 34 回日本リーグは、12 月 16 日から 20 日にかけて男子の全日本総合選手権が東京で、同 24 日から 27 日にかけて女子の全日本総合選手権が香川で行われ、年末年始もはさむため、約 1 カ月間のブレイク機関に入り、次の第 15 週は新年 1 月 16 日の開催となる。

男子のプレーオフ争いは、すでに大同特殊鋼がレギュラーシーズン 4 位以内を確定させ、決勝キップを獲得。12 月 13 日のゲームで湧永製薬を破り、勝点を 16 に伸ばしたトヨタ車体も残る 3 試合のうち、上位陣との戦いは大同戦を残すのみ。よほどの乱れがない限り、プレーオフ進出は堅そうだ。

これで大崎、トヨタ紡織九州、湧永が残る 2 枚のキップを争う形となり、直接対決も残されている。第 14 週（12 月 13 日高知）に車体に敗れて苦しくなった湧永は、リーグが再開となる 1 月 16 日（土）、岩手で大崎と対戦。翌 16 週にも紡織との激突が待ち受けるが、大崎、紡織が残す対戦相手から考えても、湧永はまず大崎戦で悪くとも引き分けて勝点をつかまないと、早々に窮地に追い込まれることとなりそう。大崎も勝点を落とすと苦しくなるだけに、プレーオフ進出キップをかけて激しい火花が散る大一番に。このカードが第 15 週最大の見どころになるのは間違いない。

2 チームの紹介

(1) 大崎電気（岩手のホームチーム）

スーパースター宮崎大輔がスペインに移籍し、長くチームを支えた濱口、東が引退。代わって夏山、染谷、森のルーキーに加え、海外から移籍の吉田（エストニア・チョコレートボーイズ）、豊田（韓国・斗山）、Honda から移籍の横地と、実績充分の実力派が加入。大きく入れ替わったメンバーを指揮するのも岩本新監督と、一新ムードにあふれる。7 月の全日本実業団選手権でも絶対的なエースが抜けた分、新キャプテン永島を中心に、いっそう全員で戦うという意識の高まりが感じられただけに、モデルチェンジしたチームの戦いは必見だ。

(2) 湧永製薬

山口監督 1 年目の前は、チームの支柱と期待していた東長濱の故障などもあり、戦闘態勢を整えることに大きなエネルギーが注がれ、タイトルには手が届かずに終わった。今シーズンは、東長濱が長丁場をフル回転できるかどうか、まず大きなポイント。坪根、東という長年チームを支えてきた心強い存在が抜けた穴は、3 月のプレーオフでも経験を積んだ谷村、木村の両ルーキーも交え、全員で埋めていくことになる。ベストコンディションを維持して最後まで戦い抜けるならば、第 22 回リーグ以来となる頂点達成も見えてくるはず。

3 その他

(1) 大崎電気選手による講習会開催

ハンドボール競技の普及と H23.3 から 3 年間岩手(花巻)で開催される全国高校選抜大会、H23 北東北インターハイ(花巻)、H28 岩手国体(花巻)に向けての本県ジュニアの選手強化を目的に開催するもの

ア 中学生講習会

ゲーム当日、サイン会後に中学生約 80 人を対象に行うもの

イ いわてスーパーキッズチャレンジスクール「ハンドボール体験教室」

a 日 時：1 月 17 日（日）9：30～12：00

b 場 所：八幡平市総合運動公園体育館

c 対 象：いわてスーパーキッズ（小学校 6 年生～中学校 2 年生）80 名

d その他：1/16 日本ハンドボールリーグ岩手大会観戦予定